

経済倶楽部便り

◆東京◆ 2月の講演会は石橋湛山賞受賞者の講演が続きます。最初のお一人は宇野重規・東

京大学社会科学研究所教授でした。受賞された「民主主義とは何か」という著書をベースに講演されました。古代ギリシャから2500年の歴史を持つ民主主義ですが、現在、世界的に権威主義的な国家が増えていることもあって改めてその歴史や代議制民主主義等について考える契機を与えていただきました。4月号に掲載予定です。*2月号の寺島実郎氏のご講演の質疑応答で「ブラジルのボンバルディア」とありますのは「ブラジルのエンブラエル」の誤りです。

た。訂正させていただきます。

4月の講師は名古屋商科大学ビジネススクール教授の原田泰氏、早稲田大学大学院教授の青山瑠妙氏、相澤病院院長の相澤孝夫氏、神奈川大学教授の下斗米伸夫教授の予定です。

◆中部◆ 2月は静岡県立大学特任教授で軍事アナリストの小川和久氏をお呼びして日本の安全保障問題でご講演いただきました。当面の台湾有事について「中国の台湾侵攻には100万人の兵員数が必要。加えて兵站維持、さらに米軍の圧力による制空権確保が難しいことから近い将来はない」と話されました。

4月の講師はTBS「News 23」キャスターの星浩氏、拓殖大学海外事情研究所教授の富坂聰氏を予定しています。
(日暮良一)